



静岡市森林環境アドプト実行委員会

寄附趣意書

静岡市では、地球温暖化対策として、市域内で排出する二酸化炭素をできる限り市域内で削減・吸収しようという「二酸化炭素の地産地消」を目標に各種事業を進めております。都市部において、省エネルギー、再生可能エネルギー、次世代自動車の普及等により、排出削減に努めるとともに、市域の約8割を占める森林が持つ公益的機能の一つである二酸化炭素の吸収機能に期待し、間伐等の森林整備を進めることで二酸化炭素の地産地消を推進したいと考えています。

静岡市の森林面積は、市域の76%を占め、そのうち43%が人工林です。しかし、森林所有者の高齢化や後継者不足により、人工林の中には一度も間伐等の整備がされていない未整備林も多く存在します。

そこで、静岡市では、森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の皆様に費用を御負担いただき、森林が二酸化炭素を吸収するために必要な森林整備を行い、市域内で排出される二酸化炭素を市域内で削減・吸収する「静岡市森林環境アドプト事業」に取り組んでいます。

この事業は、静岡市をはじめ、静岡県地球温暖化防止活動推進センター、静岡市森林組合、清水森林組合、井川森林組合で構成する静岡市森林環境アドプト実行委員会が主体となり、企業・団体、森林所有者の御協力を得て、実施しています。

この事業を継続的な森林整備として展開していくためには、皆様の御支援を欠くことができません。つきましては、本会の事業に御理解と御賛同をいただき、格別な御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月

静岡市森林環境アドプト実行委員会

森林の二酸化炭素吸収機能

樹木は、光合成の働きにより、地球温暖化の原因となる、空気中の「二酸化炭素（ CO_2 ）」を吸収し、樹木の中に「炭素（ C ）」を固定し、貯えています。また、樹木が若くて生長が大きいときほど、多くの二酸化炭素を吸収します。したがって、森林を適正に整備し、元気のある森林を維持することは、地球温暖化対策につながるようになります。

